

丹南県立高再編 5校体制を決定

県教委

県教委は27日、丹南地区の県立高再編で2020年度に鯖江と丹南、武生商と武生工をそれぞれ統合する実施計画を決めた。現在の中学1年生の入学時に、現在の7校から2校減の5校体制になる。18年度に鯖江と丹南、武生商と武生工で一つずつ設ける準備

(同、38人)を設ける。国公立大への進学指導を強化する探究科(同、38人)も新設する。

武生商と武生工を統合して設置する総合産業高は、商業系を現在の3学科から商業マ

ネジメント科(同、74人)、情報ビジネス科(同、74人)の2学科、工業系は4学科から都市・建築科(同、35人)、電気情報科(同、35人)、ものづくり科(同、70人)の3学科に再編する。

このほか武生にも、探究科(同、72人)を設け、難関大

委員会、統合後の新学科、新コースのカリキュラムなど具体的な検討を進める。同日開いた県教育委員会の会合で決定した。計画では、鯖江に丹南を統合し、普通科内にスポーツ・福祉コース(仮称、20年度の想定定員38人)、IT・デザインコース

学への進学を強化する。再編対象校の教員らでつくる準備委員会は、カリキュラムのほか、校舎・施設の利用

計画、必要な施設・設備、人員配置などを18、19年度に検討する。また、二州地区の進学体制

を強化するため、20年度に敦賀高にも探究科(仮称)を新設することを決めた。2クラスを見込んでいる。(西脇和宏)